

The background features a complex arrangement of blue and red wireframe structures. These structures consist of overlapping lines that form spherical and cylindrical shapes, creating a sense of depth and movement. The blue structures are primarily on the left side, while the red structures are on the right. The overall effect is a dynamic, almost architectural composition.

店に行くか？

インターネットを使うか？

人気サイト 実力チェック 十番勝負

読みたい本の注文から航空券の予約、はたまたマイホームの物件探しまで、いまや日常のさまざまなサービスがインターネットを使ってできるようになってきた。しかし、実際にそれらはどこまで便利で実用的なのか、いまいちよく分からないのではないだろうか？そこで、今回はそれらのサービスについて、よく知られている人気サイトを使う場合と使わない場合を比較することで、現在インターネットで提供されているサービスの便利な点や不便な点を具体的に検証してみることにした。

書店に行く暇がない...。不動産屋をめぐったり交渉したりするのはちょっと苦手。チケットをとるために電話をかけまくったり、行列するのはもうたくさん。タウンページは分厚すぎるぞ!

なんて普段の生活でこれは不便かな? なんて思っていることはあるはずだ。なにかよい方法はないものか...。そうだ! インターネットならなんとかしてもらえないかもしれない。どんどん便利になるインターネット。もしかしたら現実のサービスと同じくらい、いやそれ以上に“使える”ものになっているかもしれない。

そこで、今回の特集は人気のある役立ちウェブサイトインターネットマガジン編集部が独断で選出。その実力をインターネットにあまり馴染のない一般の方にもご協力いただいてチェックしてみた。

「役立ちウェブサイトは現実のサービスを越えたのか?」

結果は後のページのお楽しみ!

インターネット ならなんとかが してくれる?

産直品ってなかなか欲しいものが売っていないのよね

回線が繋がらないよお

地図を持ち歩くのは面倒だなあ

どこに欲しい情報があるのか分からないよ

書店に行く暇がないぞ

タウンページって場所をとるし探すのも面倒だなあ

航空券の手配って面倒くさいよ

本当にインターネット通販って使えるの?

情報誌が分厚すぎて持ち歩けないワ

チケットをとるのに並ぶのは嫌だなあ

このウェブはなかなか表示されないなあ

見たくない画像ばかり表示されるわ

Battle Menu

round 1	書店 VS 紀伊國屋BOOKWEB 書店に行かなくても本が買える! 洋書も格安! じゃあ、立ち読み好きの立場は?
round 2	デパートの食品売り場 VS ショッピングサイト インターネットはデパートの食品売り場を超えたか!? 編集部はあこがれのカニをゲットできるか!
round 3	プレイガイド VS インターネットチケット予約サービス 並んだり、電話攻撃なんてもう古い!? 本当にインターネットで人気チケットが手に入るのか?
round 4	不動産屋 VS 住宅情報 OnTheNet あこがれのマイホームをインターネットで探す。不動産屋めぐりは過去の遺物になるのか?
round 5	情報誌 VS タウン情報ウェブサイト デートプランはインターネットで考える。モテル男はこれがアタリマエ?
round 6	パンフレット & ガイドブック VS ホテル予約サイト クリックひとつでホテル予約が完了? どこまでできるか、インターネットのホテル予約。
round 7	転職情報誌 VS Digital B-ing こんな会社辞めてやる! なんて言っているあなた。理想の職場はインターネットで探せるか!
round 8	旅行代理店 VS JASチケット予約サービス 代理店のカウンターに行かなくてもエアチケットが手に入る? こんな便利なものがあつたとは。
round 9	地図帳 VS 地図検索サービス 目的地を一発検索! インターネットの地図帳は本当に頼りになるの?
round 10	NTTタウンページ VS インターネットタウンページ 分厚いタウンページがインターネットに収まった。電話番号はもちろん地図まででるらしいぞ!

ウェブサイトを試した評議員の方々



サラリーマン

38歳男性

ドライブが趣味の某大手商社勤務16年の営業職の課長さん。出張が多く家庭サービスをする暇もない。インターネットは会社で使えるがあまり使っていない。



主婦

43歳女性

専業主婦。旦那と子供の3人暮らし。家のローン返済で家計にうるさい。一円でも安いモノを買うために自転車まで商店街を駆け巡る。もちろんインターネットなんて初めて。



OL

22歳女性

丸の内の某大手企業の事務職。典型的な5時から女と自称している遊び好きな女性。週に3回のデートと年に2回の海外旅行は欠かせないのがポリシー。



学生

19歳男性

東京都内にある某理工系大学理学部の2年生。学校でインターネットは自由に使いこなしているパソコン好きでバイトに明け暮れている栃木出身の一人暮らし。



欲しい本を買いいたい!

わざわざ書店に足を運ばなくても本が買える!
しかも24時間オープンインターネット書店があるという。
その実力に迫ってみた。

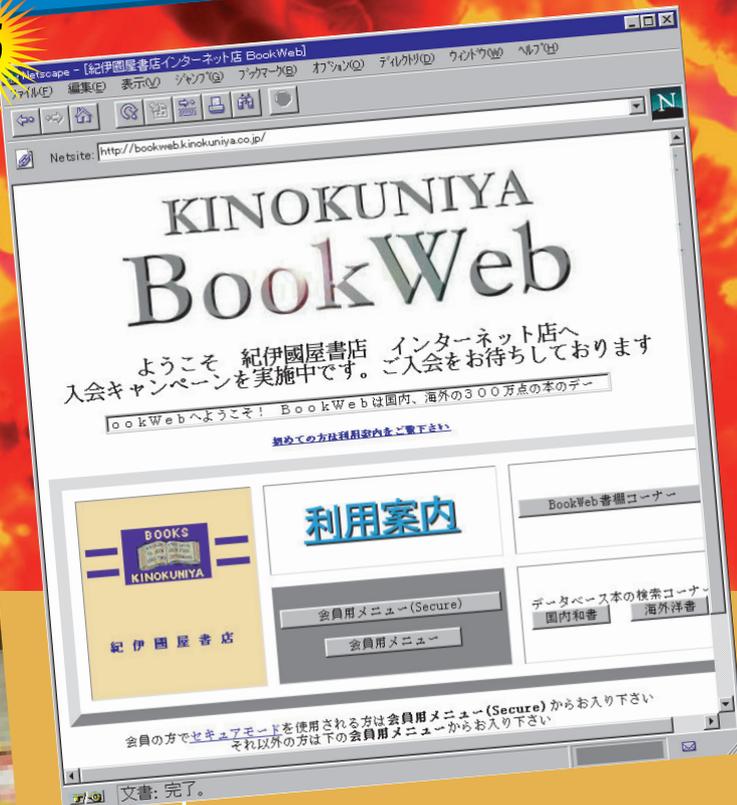
書店

VS

紀伊國屋 BookWeb



撮影協力：紀伊國屋新宿本店

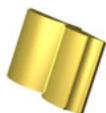


紀伊國屋 BookWeb

URL <http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>



タイトルや著者名をもとに、300万冊のデータベースの中から検索する機能がある。これなら広い店内を歩きまわる必要なしだ。

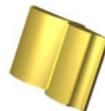


和洋書あわせて300万冊！これは紀伊國屋新宿本店の3倍だ

紀伊國屋のウェブサイトにはBookWebという本の通販コーナーが用意されている。ここで買うことができる本の数はなんと約300万冊。紀伊國屋書店の新宿本店でさえ置いてある本は100万冊くらいだというから、このウェブのすごさがわかるだろう。

しかも、現実の書店の売り場のようにジャンル分けがされているのだ。各コーナーをクリックしていくと、売れ筋の本が表紙の画像入りで並んでいる。まるで書店に本が積みまわっているように

なっているのだ。ううむ、本物の書店に近づけるなかなかの演出だ。しかも、本によっては内容や目次を紹介してくれるので立ち読み気分が楽しめるぞ。



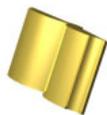
店員さんの代わりに強力な高速な検索機能を装備!

大きな書店に行くと売り場がとっても広いので、どこに何の本があるのか目的の本を探るのはかなり面倒だ。そんなときには店員さんに聞いて探してもらったりするわけだが、けっこう時間もかかって店員さんにすまないなあなんて思ったりする。でも、このウェブサイトなら



人気サイト 実力チェック 十番勝負

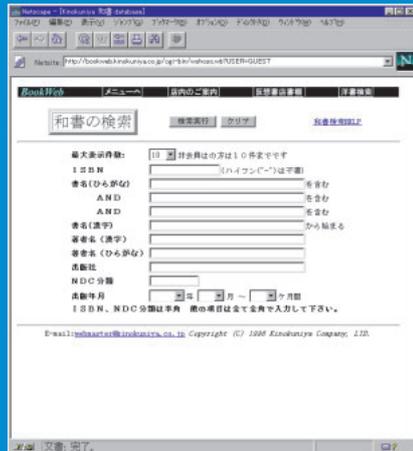
ら検索機能がついているのでパッチリだ。しかも、本のタイトルをよく覚えていないときだって、ほんの一部の単語を入力すれば検索してくれる。データは毎日更新されるので、実際の売り場にあるものはすべて検索できるそうだ。実際の書店に行くと、ジャンルもなににも分からないのに本の題名だけで探すのは至難のワザだが、検索機能を使えばあっという間に見つけ出すことができる。これはウェブサイトならではのウレシ機能だ。



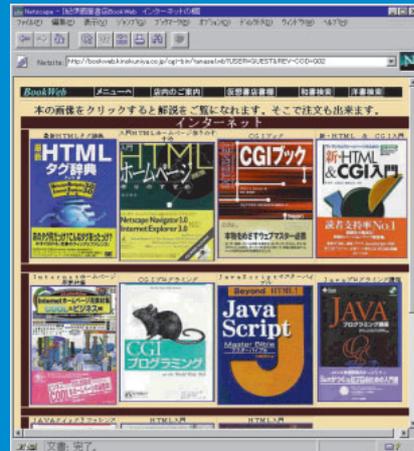
レジに行ってもすぐ買えないのがちょっとバツかも

欲しい本を見つけたら一刻も早く読んでみたい。レジで会計を済ませたら帰りの電車の中や喫茶店でさっそく一読……。なんてことができないうのがインターネットの悲しいところ。ウェブから注文すると、国内の本なら注文を受けてから最短4日から、最長3週間かか

このウェブのここがすごい!

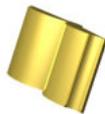


300万冊の中からあっという間に検索してくれるのだ。データは毎日更新される。ただし、本を購入するには年費3000円（97年9月末までは1500円）が必要。



書棚コーナーでは、表紙を見たり目次や内容紹介を見たりしながら本を選ぶ。まるで立ち読みしながら書店を歩いている気分になる。

てしまう場合があるのだ。とはいっても注文は24時間受け付けているので、書店に行く暇がない多忙な人はかなり便利だ。



実勢レートに近い価格で洋書が買える！これは書店よりもお得だ

洋書を買う場合、どうしても海外で買うよりもちょっと高めという感じがある。輸入する

のにコストがかかるから仕方がないかなあと思いつつ買うことになる。

しかしこのウェブの場合、本の価格は実勢レートを基準にして価格を割り出してくれる。そこに海外取り寄せ手数料を足した額になるのだ。この価格体系のおかげでかなりお得に洋書が手に入るようになったのだ。実際に某書店で3600円で売っていた本が3000円で手に入るのだ。これは買いだ!

評議員言いたい放題!

忙しくて本屋さんになかなか行けない私にとってはかなり便利だ。



サラリーマン評議員

会員費が高い！何回も使わないととが取れないわ。立ち読みもできないじゃない。



主婦評議員

あたし雑誌しか買わないから...別に使わないかも。



OL評議員

レポートのために専門書や洋書を買うときなんかは絶対にいいね!



学生評議員

担当者に 聞きました

株式会社紀伊屋書店パーソナルセールス部

毎日、毎日増えていく新刊をすべてカバーしているのが自慢です。書店に置いてあるのにこのウェブにないというケースはありません。書店はスペースの問題があるので、置ける本の数に限りがありますが、ここは制約がありませんからね。しかも、その300万冊以上の本を高速で検索できるんです。

会費をとる理由ですが、たしかに書店入るのに会費が取られるのはおかしいかもしれません。しかし、このウェブサイトがデータベースとしても利用できるというメリットがあるということと、本の情報を発信するブッククラブとして位置付けているため会費をいただいております。

24時間サーバーを管理したり、お客様からの質問への対応など苦勞もありますが、今後もさまざまなサービスを充実させていく予定です。

結論!

目的の本を探して買うなら検索機能のあるウェブサイトが便利。届くのには少し時間がかかるが、洋書を買うのにもおすすめ。地方などでは手に入りにくい専門書を買うときなどはかなり使えるサービスではないだろうか。注文も24時間受け付けてくれるので、真夜中でも本を買うことができる。

しかし、立ち読みしたりしながら興味のある本を探して本を買いたいなら書店を歩こう!

産地直送食品を 買ってみよう



インターネットなら日本全国の産直食品が手に入るらしい。
デパートやスーパーの食品売場より便利なの？

デパートの食品売り場

オンラインショッピング



Armadillo

URL <http://www.members.co.jp/>



確実に欲しいものを見付けるには
リンク集を使い

産地直送食品を買うときに、まず最初にお世話になるのがオンラインで買える商品をカテゴリー別に分類しているリンク集だろう。なにせ、産直と言っても種類も地域もさまざまなので、1つのオンラインショップで米も魚も野菜も買うというわけにはいかないのだ。したがって、そのような場合には、リンク集がショッピングモールのウェブサイトを手上に活用して、自分の買いたいものをいかに早く見付けるかということが重要になってくる。



リンク集には商品名で検索できる検索フォームを付けてくれい！

まず、リンク集「Armadillo」を見てみよう。このサイトでは、オンラインショッピングができるサイトを食品、服、本やCDなど、カテゴリー別に分類している。4月末現在で約2,000件近いウェブサイトが登録されているので、欲しいものが見つかりそうだ。今回は産地直送のカニを探してみよう。と思ったのはいい、このウェブサイトには商品名で検索できるような検索機能が見あたらない。商品がすべてカテゴリー別に並んで



北海美味工房

URL <http://www.marimo.or.jp/Marusui/>

いるので、「カニ」は「海の食べ物」の中に入っているのかな」というように、商品がありそうな場所を予想してリンクをたどらなければならないのだ。漠然となかおもしろいようなものを探すのならいいかもしれないが、今回のように注文したい商品がはっきりと決まっているときは、商品名で検索できたほうが便利だろう。

気を取り直して、「海の食べ物」の中からカニを売っているような店を探してみた。ページをずるずるスクロールさせていくと、「北海美味工房」というそれらしき店を発見した。ここならあるかもしれない。カニまでの道のりは遠いなあ。

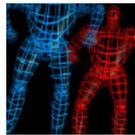


カニの大きさが分からないぞ

さて、「北海美味工房」を見てみよう。ここでは北海道釧路にある生産物加工や販売を専門としている会社が作っているウェブサイト、荒巻鮭、イクラ、カニなどの水産物を販売している。

この中の「ショッピング」をクリックすると、取り扱っている商品が出てきた。やった、カニがあったぞ。「毛ガニ400g × 2ハイで6,000円」だ。でも、400gって言われても、ウェブサイトでは大きさがよく分からない。デパートの食料品売場なら味見できるけど、ウェブではできないし……。でも、わざわざ出かけて買って買うことを思えば、これくらいはしょうがないかな。

というわけで、やっと注文だ。おっとその前に送料を確認しなくては。ここでは北海道以外の地域には5kgまで1,300円で発送しているという。支払いも、代引き（商品到着時に代金を支払うシステム）が商品到着後に郵便



人気サイト 実力チェック 十番勝負

振り替えが銀行振り込みで払えばいい。商品名をクリックしたら、「注文」のリンクが表示されたのでささずクリックすると、おなじみの注文フォームが現れた。でも、商品名は自分で入力しなければならないので、またもとのカニのページまで戻って商品名を確かめなければならない。再び注文フォームに行き、自動的に商品名が入力されていると便利なのに、と思いつつ注文した。



買い物するなら商品内容や注文方法が分かりやすいウェブサイト

オンラインショッピングのサイトで大事なのは、「そこではどんな商品を売っているのか」ということを利用者にすばやく分からせることだ。そして、次に注文方法や支払方法などを分か

担当者に聞いてみました

株式会社メンバーズ
Armadillo制作担当

今年の6、7月ごろにウェブのリニューアルを考えていまして、商品名で検索できる機能やどういった商品を扱っているのかといった情報を掲載したショッピングコーナーも作ります。今年末までに掲載店数が1万件を超えるくらいにしたいと思っています。利用者の方からは通常のサーチエンジンに比べてショッピングサイトのみを扱っているのを探しやすいとか、そういった感想はきますが、反応はよく分からないですね。

りやすく表示すること。この3つの項目がきちんと表示されていることが「使える」オンラインショップの条件だ。

ウェブサイトのトップページで、「商品」「注文方法」「支払い方法」などのアイコンを作り、利用者が知りたい情報をすばやく提供することが使いやすさの鍵になるだろう。

評議員言いたい放題!

地方の地酒や酒の肴を買うときとか、便利そうだね。



サラリーマン評議員

みんなわいわいやりながらオンラインで注文するのもおもしろいね。コンパやするときの注文もこれでできるかな。



学生評議員

なんとなく見ながら買うのはいいけど、買いたいものがなかなか見つからないときはどうしたらいいの？



主婦評議員

写真だけじゃ商品の内容がよく分からないから、オンラインではあまり買いたくないわ。



OL評議員

結論!

産地直送商品をオンラインで注文するメリットは、新鮮な食料品が手軽に現地価格で手に入ること。送料分を考えても、デパートの食料品売場で買うより安いときもある。

反対にデメリットとしては、実際に大きさや鮮度などを確認できないこと。あと、商品はいたいい宅配便で送られてくるので、到着日には家にいなければならない。特に、海産物や冷凍物などは要注意だ。

総合的に考えてみると、オンラインショッピングに向いている産直物は、米や地酒など、あらかじめ商品の内容が分かっている日持ちのするものということになるだろう。

round
3

コンサートや演劇のチケットを取りたい!

人気コンサートや演劇のチケットをらくらく入手できると噂の「チケットセゾン」。もう徹夜でプレイガイドに並ぶ必要はないの?

プレイガイド

VS

インターネットチケット予約サービス



チケットセゾン

URL <http://www.sazon.co.jp/ticket/>



24時間OPEN!
いつでも
チケット予約ができる!

では、さっそくインターネットの「チケットセゾン」にアクセス。コンサートチケットの予約を試みよう。チケット情報のページと申込みのページが別なので、ページを行き来しながら、会場、席の希望、日時、場所、メールアドレスを打ち込まなければならぬのが少々不親切。すべての欄に記入をしていざ送信!果たしてチケットは取れるのか?電子メールでオーダーをするので、送信した時点で席が取れたかどうかは不明。いつ返事が来るのだろうか。ドキドキしながら返事待つことにした。1時間...2時間経過.....深夜になったので今日は帰ることにした。



超人気バンドのチケットをゲット!ワンモアチャンスもありがたい!

翌日、到着メールをチェックするとチケットセゾンからのメールが1通。みごとチケットの予約が

評議員言いたい放題!

申込み時に席の有無を教えてくださいないのは不親切。取れないとわかってるものを申込みたくない。



サラリーマン評議員

できていた。あとは予約番号をチケットに引き換えればOK!思い付いたときにチケットが申し込めるのはとてもイイ感じだ。しかし、必ずいつも予約できるわけではないので要注意、そんな時のためにチケットセゾンではワンモアチャンスという敗者復活?のようなサービスがある。このサービスは、申込み時に登録するだけで、20日以内に何らかの都合で売り切れになったチケットに余裕ができた場合に、自動的にチケット予約の権利をまわしてくれる「補欠ボックス」のサービスだ。チケットがうまく取れなくて悔し

チケット獲得の「裏ワザ」!

ここで、チケット獲得の裏ワザを伝授しよう!たとえば、自分のゲットしたいチケットの予約受付日が、超有名なコンサートなどの発売日とかさなっている場合は、電話回線がリニア状態であつながらないことがある。そんなときはインターネットを使えば結構高い確率でチケットがキープできる。

予約の申込みや決済がもっと簡単なら便利だけど、入力する項目が多すぎて面倒くさいわ。ホントに電話みたいにチケットが取れるの?



主婦評議員

インターネット優先予約がなんといいもゲー。会社からでもごひいきバンドのライブが予約できるしね。



OL評議員

コンビニ(ファミリーマート)でもチケットが買えるのが便利です。電話予約のスリルも好きですが、



学生評議員

い経験の多い読者には嬉しいサービス。店頭や電話での申込みには絶対ないサービスだ。ということで、編集長コンサートに行ってください!

結論!

インターネットでのチケット予約サービスは、まだまだこれからが楽しみ。オンライン決済もできるようになるので、家にいながらにしてチケットが買えるようになればアフターファイブももっと充実。

がどうしてもかかってしまうため、電話予約に比べて多少まどろっこしい状況が生じる場合もあります。その代わりに、発売日前に予約エントリーができる優先予約の企画を用意したり、最初の申し込みでチケットがとれなかったお客様に対してワンモアチャンスというサービスを設けるなど、インターネットの特性を活かした方法を取り入れています。今後は、申し込みから決済までがより簡単にできるメンバー登録制も導入する予定です。

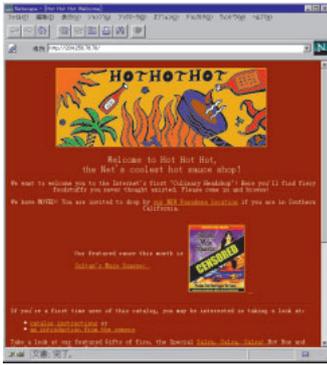
担当者に聞きました

㈱SSコミュニケーションズデジタルメディア事業室
安藤光夫さん

現在チケットセゾンでは電話や店頭での受付と並行して、インターネットによるチケット申し込みも受け付けていますが、オーダーの伝送や返信メールの処理に際してある程度の時間



人気バンドBEN FORDS FIVEのチケットが取れた。チケットはセゾン系のコンビニエンスストアでも購入可能だが、期日までに引き換えないと予約は無効になる。



HOT HOT HOT

URL <http://www.hot.presence.com/>



Firefly

URL <http://www.firefly.com/>



tunes.com

URL <http://www.tunes.com/>

HALFTIME

思わず使いたくなる魅力的なウェブサイトとは

中嶋 淳

d11299@esq.dentsu.co.jp

つつい買ってしまおうのインパクトのあるショッピングサイトなのです

SSLもよく理解していなかったあのころ、無謀にもバンバンとオンラインショッピングをしたものです。そのころよく見に行ったサイトを久しぶりに訪れてみれば、なぜ当時からインターネットで物を買う衝動にかられたのか、が分かるかと思っ再訪したサイトが世界最初(?)の香辛料専門店 HOT HOT HOT (<http://www.hot.presence.com/>) でした。ここは単に激辛スパイスを売っている所なのですが、やっぱり、おちゃめな顔のアイコンで辛さのレベルを表示したナビゲーションや全体的に赤系の色使いで熱さを感じさせるデザインなど、思わず購入してしまいたくなるインターフェイスが特徴です。

そこには「たくさんの中からあなたがお望みの一品をご用意していますので、商品名や色などを入力してください」なんてまどろっこしい行為は存在していません。ひたすら「そうか、辛いのか、こりゃ」と思っ思わず買ってしまう自分だけなのです。

とかく日本のショッピングサイトは「品数豊富、色やサイズも揃えています」を売り物しているのですが、お店のお勧め商品だって知りたいのです。もちろん、細かな条件設定で最適解を導き出したい不動産などの検索(「ふぉれんと」な

んかそう)なら数で勝負かもしれないけれど、そんな明快な目的ばかり持った顧客「だけ」を相手にオンラインで商売しようなんて、まさか本気では思っていないことを祈りたいと思います。

購買意欲を増進させる「老舗の親父」機能が欲しい

ひと言でいえば、どれだけ「思わず買ってしまう」インターフェイス、もっと言えば「文脈」がデザインされているかが勝負なのです。たとえば、「老舗の親父 Copyright : N. Oikawa」がいなければ「隣町まで自転車走らせれば売ってるモノ」なんて、誰もわざわざオンラインで買いませんね。馴染の老舗の親父に「今日は、いいのが入ってるよ」とか「この前買ったアレはどうだい?」なんて「会話」がどれだけ購買意欲を促進させることか。

この「老舗の親父」機能をどう組み込んでいくか。これが利用者から見た望ましいお買い物サイトの一形態だと言い切ってしまう。これを体現しているのがFirefly社 (<http://www.firefly.com/>)。たとえば、一度登録しておく「あなたの好きそうなCDタイトルを選んでみました。試聴してみて8段階で評価をインプットしてください。もっとあなた好みのリストを作りませう」というサービスが受けられて購入できるわけですから、まさにオンライン版「老舗の親父」

と言えましょう。この背後には、同じ好みの人同士のグループを自動的に作って、その中で好みを共有する「コラボレーション・フィルタリング」という技術があるわけです。単なるリニアなデータベースを探るよりもよほど「グッ」ときま

いくら買ったかがすぐに分かる「バスケット機能」くらい付けて!

浮気症な顧客をつなぎ止めるインターフェイスも重要です。たとえば、「バスケット機能」。前述のHOT HOT HOTで1つ商品を選ぶたびに、フレーム右下に「あなたが選んだ商品がバスケットに...」と表示されていますが、こういう所が実に大事。ついついたくさん買い物してしまい、予算オーバーになった揚げ句「今日は買わないで」と別サイトに行ってしまう僕なんかにはうってつけです。こういう場合、別ウィンドウを開いて、逐次に商品と合計金額が書き込まれていけば、親切ですね。CD専門店(残念ながら、まだ日本からはオーダーできません) tunes.com (<http://www.tunes.com/>) はこら辺がきめ細かくて、別ウィンドウ表示をきちりで行うだけでなく、前回以前の購買履歴や購買しようとした商品履歴も見られます。もちろん、IDパスワード管理のなせる技なのですが、「取りあえず今日はちらっと見るだけで、送料入ったら買おう」なんて思っ顧客を逃さない姿勢がうかがえます。

コンビニの商品ディスプレイデザインは認知心理学的にも計算されているなんて噂も聞きます。モノを買いたくなる気持ちを満たすには、単に「顧客が必要なものを的確に用意、提供する」だけでは達成できないという基本原則を再認識し、「キーボードを捨て、街へ出る」と訴えたい今日このごろです。

なかにま・じゅん
株式会社電通でウェブサイトのコンサルタントから構築までを手がける。本誌で「ウェブプロデューサー養成講座」を連載中。



インターネットで
マイホームが探せるぞ!

マイホームを買うには住みたい場所と予算を決め、住宅情報誌を参考にしつつ不動産屋を回るのが一般的。この情報検索を可能にしたのが毎回約1万5千件の物件情報を掲載している週刊情報誌「住宅情報」を発行しているリクルートの「住宅情報OnTheNet」。もちろん無料で誰でも膨大な情報を検索できる。予算、場所、物件という大きく分けて3つのカテゴリが複雑に関係してくるマイホーム探しをインターネットでできればこんなに便利なことはない。



ウェブの不動産屋の
実力拜見!

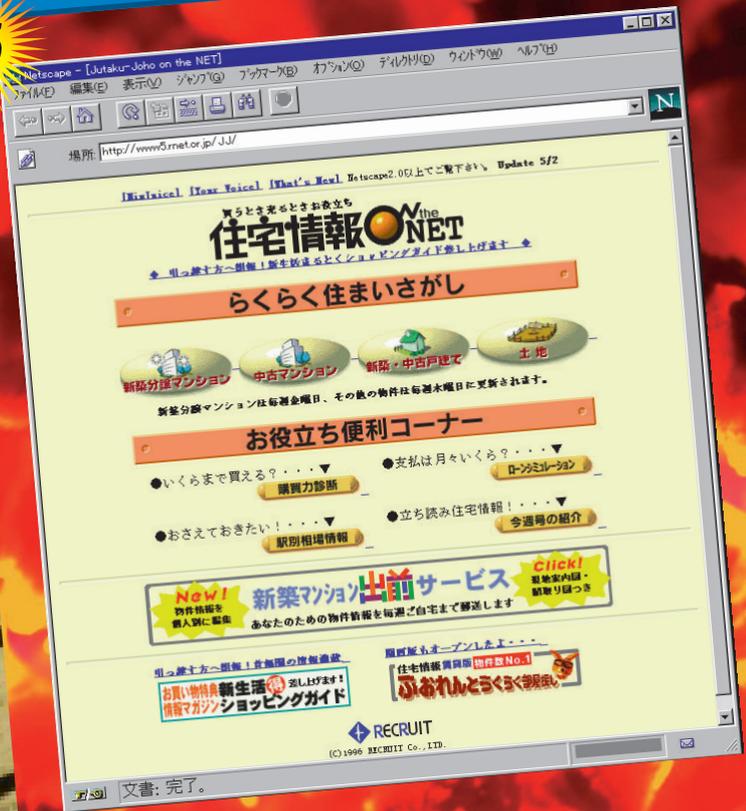
さっそく、トップページにある新築分譲マンションのボタンをクリックしてみた。すると現れたのは美しくフレーム処理された枠に埋め込まれたイラストとボタン、そしてプルダウンメニューで条件を入力できる検索画面。沿線、価格、間取り、延べ床面積、敷地面積、その他のこだわり条件を選択すれば物件を検索してくれるという仕掛けはとて親切。主婦評議員をはじめこの検索画面にはみなさん納得。

さっそく、各チェックボックスをマークして物件を検索というボタンを押してみた。すると5秒もしないうちに検索結果が現れる。ダイヤルアップでもこれだけレスポンスが良ければ自分で電卓をはじいて細かい計算なんてしなくていい。さらに、物件リスト表示を押せばたちまち検索結果がリストで表示される。もちろんさらに詳しい部屋の間取りや敷地面積などの詳細な内容を表示してくれるという優れたもの。残念ながら部屋の見取図ではないが、分厚い情報誌を広げるよりも目的のものを早く見つけることができそうだ。蓄積されたデータの量もさることながら、意識しないで

不動産屋

VS

住宅情報 OnTheNet



住宅情報 OnTheNet

URL <http://www5.met.or.jp/JJ/>



マイホームを買いいたい!

夢のマイホーム探しほど手間のかかるものはない。
星の数ほどある物件をインターネットで検索できる時代になったものの
果たしてその実力は?



人気サイト 実力チェック 十番勝負

使えるようにデザインされているところが「すごい」一言だ。



ローンシミュレーション はとっても便利！

ところで、この住宅情報On The Netには物件購入のローンシミュレーションや、購入可能な金額をシミュレーションしてくれる購買力診断サービスがある。年収や自己資金など、指定された内容を入力してゆきだけで簡単な試算結果を教えてくれる。質問項目も「いくらなら返済できそうですか？」という分かりやすいものなので、あまり戸惑うこともない。シミュレーション結果はデータのほかにイラストも付いているので「ちょっと返済に無理あるかな？」など直観的で分かりやすい作りになっているところは非常に良くできている。



不動産屋さんが 直接対決！

ところで、これだけ良くできているホームページがあれば、わざわざ不動産屋に行かなくても良くなる時代が来るのではないかと。実際に都内の大手不動産会社の営業さんに使ってもらいました。すると、意外なことが発覚。

「新築物件に関しては、不動産会社ごとに物件を販売しているので、住宅情報誌ほど大量に各社の情報は入ってこないんですよ。だから、僕たちも住宅情報誌をよく利用しますよ。でも、中古物件に関しては、建設大臣が指定したオンラインサービス機関に加入

担当者に 聞きました

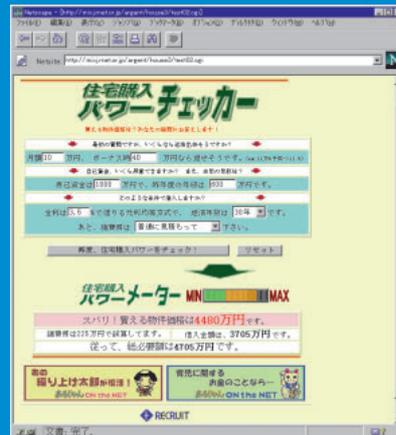
リクルート 電子メディア
配信グループ・グループマネージャ
市本哲也さん

このサービスは昨年の10月から始めたのですが、賃貸物件を検索する「ぶっおれんと」を踏襲してつくりました。物件の写真や間取り図を入れて欲しいという要望もいただく

このウェブのここがすごい！



ローンシミュレーターに数字を打ち込むだけで、ローンのシミュレーションが何度でもできるのだ。



住宅購入パワーチェッカーでは自己資金と年収などを入力すると購入物件価格を試算してくれる。

ローンシミュレーションは便利。何回頼んでも文句を言われるわけじゃないからつい何度でも計算してみたりして。



サラリーマン
評論員

エリア別とかで家を探るのはまる。でも、完成図のイラストが多い情報誌も好き。



OL
評論員

見取図と、近所の環境も写真で入れてくれないと具体的にイメージできないワ。結局は目安ね。



主婦
評論員

毎月アパート代を払うのが大変なバイト人生。物件はたくさんあっても実感わきません。



学生
評論員

評論員言いたい放題！

していれば、常時10万件以上の物件を即座に検索できるので、情報量においてはインターネットでのサービスをはるかに上回ってますね。ローンシミュレーションや購買力を診断するサービスはユニークですね。残高還元

のですが、現在、新築物件や中古物件に関しては間取り図があるものは全体の20分の1ほどです。ついでに言うと住所も細かくは出力していません。「住宅情報OnTheNet」は、今のところ『比較・検討』ツールとして位置づけています。その結果、その情報を見て興味をいだいて、現地に行くとか、不動産屋さんを訪れるとかのアクションを起こしてくれることが目的であり、このサービスの意義なのです。

表なんていうのも目安になりますよね。でも、実際はもっと複雑。融資を受ける先の金融機関によって利率もちがうし、返済方法もいろいろありますからね。でも、こういうサービスを利用してから相談に来てくれるお客さまが今後増えてくれるのは嬉しいですよ。実際、ホームページ上ではマイホーム買えませんからいろいろと検索してからご来店ください」と余裕のコメント。

結論！

ウェブでの不動産情報サービスはとっても便利！ここで、相場や物件を検索しながら、夢のマイホームを現実に近づけよう！



CINEMA VIEW-recruit
URL <http://mixj.r.net.or.jp/cinemaview/>



COMIN'SOON WEB
URL <http://vie.co.jp/vin/>



映画を見た人の感想が聞ける「CINEMA VIEW」

今回のデートプランは「映画+食事」のコース。いちおう相手の好きそうなところを押さえておかなきゃ。でも、いまやってる映画って何があったっけ？ というわけで、上映している映画作品名と場所や上映スケジュールが載っているウェブサイトを探してみた。まず、最初に見付けたのが、リクルートの中にある「CINEMA VIEW」というページ。ここには現在上映中の映画作品名や簡単なストーリーの紹介が掲載されている。ページの左部分に現在公開中の作品名がずらりと表示されているので、その中から今年のアカデミー賞候補になった作品「シャイン」を選んでストーリーを読んでみた。すでにその映画を見た人たちが感想を書き込んでいるコーナーもあるではないか。5段階評価も付いているので、参考になるなあ。うん、これ見に行こうっと。



Welcome to OZ-mall
URL <http://www.oz-net.co.jp/>

「レストラン検索」を使えば、店探しは完璧。



VDOLiveで映画の予告編が見られる「COMIN'SOON WEB」

というわけで、この映画を上映している映画館を探してみた。ウェブには「××ほか全国でロードショー」って書いてあるだけでよく分からない。どこでやってるか書いていてくれないのにな。ロードショーなので、銀座あたりを探せば、どこかでやっているだろうと推測して、上映している映画館を探してみた。「劇場MAP&スケジュール」の「スケジュールはこちらへ」をクリックして上映時間を調べようとする、あれ、GAGA Publishingの「COMIN'SOON WEB」のページに飛んでしまったぞ。上映場所とスケジュールの部分はよそのサイトにリンクしてたのか……。というわけで、今度はGAGAのサイトで情報収集だ。ここにはVDOLiveによる30秒くらいの予告編も収録されていて、なかなか便利。インターネットならではの見せ方といえるだろう。



楽しいデートプランを考えたい

映画館の上映スケジュールからレストランのメニューまで、情報誌を調べるかわりにオンラインで一気に検索できるOZ



人気サイト実力チェック 十番勝負

タウン情報ウェブサイト

VS



レストラン検索は「オズ・モール」で決まりっ！

映画が決まったらさて、お次はレストランだ。女性情報誌『オズマガジン』のオンライン版「オズ・モール」で探してみよう。ここは雑誌で紹介された店をウェブで紹介しているのだが、圧巻なのは「レストラン検索」。ここで紹介されているレストランやバーは「料理の種類」に始まり「エリア選択」「営業曜日/時間」にいたるまで、さまざまな項目を同時に検索することができる。「駐車場あり」や「食べ放題」などのキーワードでも検索可能だ。たとえば、「銀座にあるイタリア料理屋」と入

力して検索すると、13件がリストアップされた。一番上にあつた店をクリックしてみると、店の住所、電話番号から基本メニューの価格があるのは序の口で、店の内装や料理の写真までも掲載されているのだ。さらに「MAP」をクリックすると、店の場所を記した地図まで表示されるのだから驚きだ。文字検索のウィンドウはなかったが、これだけ細かくカテゴリー別に検索できれば、条件はすぐに絞り込める。また、画像が多いわりにはダイヤルアップ接続でもストレスを感じずに見ることができた。使いようによっては、本や情報誌で店を探すよりも便利かもしれない。さあ、締め切りが過ぎたら本当にデートしようっと…。

担当者に聞きました

スタート出版
インターネット推進室 藤井慶子さん

オズ・モールでは、「オズ・マガジン」の第一、第二特集で紹介された店などを雑誌より1か月遅れでウェブに掲載しています。中でも「レストラン検索」と会員同士でコミュニケーションができる「口コミ掲示板」

が好評ですね。「口コミ掲示板」では「過去の会話の流れを見ながら発言したい」という要望があつたので、フレームを付けて改善しました。「こうしてほしい」という要望はすぐに反映させるようにしています。無料登録した会員のうち7割が女性利用者です。雑誌のほうは9割が女性なので、普段雑誌を読まない男性の方にも利用していただいているようですね。雑誌で見た店をウェブで検索するなど、雑誌とウェブサイトを併用していらっしゃる方も多いいみたいです。

評議員言いたい放題!

映画も外食もあまりしないしな。若い人にはいいんじゃないかな。



サラリーマン評議員

私にはあまり関係ないわね。OLや学生さんにはいいんじゃないかしら。



主婦評議員

料理の写真が見られるのがいいわ。テーブルチャージとか分かるともっと便利なんだけどね。



OL評議員

インターネットなら一度にいろいろ検索できるしね。いちいち雑誌買って調べてらんないよ。



学生評議員

結論!

映画館情報に関しては、いまのところ、ここ1つですべて済むようなウェブサイトはない。あれこれ情報を集めようとする、いくつかのウェブサイトを使い分ける必要がありそう。

東京都内のレストラン情報なら、「オズ・モール」が最も充実していて使いやすかった。ただ、検索するだけならウェブでできるが、地図や店の電話番号などその情報をプリントアウトしないと使えないのは、ウェブサイトの宿命か。

パンフレット & ガイドブック

ホテル予約サイト

VS



観光名所のホテルを 予約したい

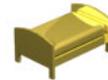
パンフレットやガイドブックとにらめっこしなくても、インターネットを使えばホテル選びから予約までできるかも.....



ホテルの情報がこれではちょっと少ないような気がする。もっと詳しくないと選べないのだが。



“ホテル”と“予約”をキーワードにして検索してみるとかなりのヒット数があった。これを1つ1つ見っていくのも結構な労力なのだが...



詳しいホテル情報が満載で予約もできる！なんて理想のサイトはなかなかない...

ホテルを予約するなら部屋の中も見たいし、食事や娯楽施設だって十分吟味してから選びたい。だからこそパンフレットやガイドブックは写真をふんだんに使って選ぶ基準をたくさん示してくれるのだ。しかし、残念なことにパンフレットやガイドブックのようにホテルの外観や施設、部屋の中などがよく分かる写真のあるウェブサイトは国内には残念ながら見つからなかった。これがないと選べないんだけどなあ...



JAPAN HOTEL SYSTEM
URL: <http://www.hotelsys.co.jp/>

予約もできるし割り引きサービスだってある。
登録ホテルの数が増えしてほしいものだ。



人気サイト
実力チェック
十番勝負

担当者に 聞きました

JAPAN HOTEL SYSTEM

このウェブサイトでホテルをご予約いただければ、クレジットカードでのお支払いも可能なので時間に縛られないホテル予約や検索が可能です。クレジットカードの番号やパスワードなどのお客様のセキュリティも暗号化シス

テムを使用しており、今までに予約や支払でのトラブルは起きておりません。ホテルの内装などの写真なのですが、お客様の通信環境を考慮して画像を圧縮しております。もっときれいにしたいのですが、通信インフラを考えると難しいかなと思われま

すね。現在、ホテル予約と同時に航空券も予約できるシステムを開発中で、それが完成したい予約できるホテルの数を増やしていきますのでご期待ください。



ホテルのホームページから予約できる場合があるぞ

一つのウェブサイトでいろいろなホテルを比較しながら予約できれば理想なのだが、そうはいかなかった。それならば、ホテルのホームページをチェックするという方法がある。ホテルによってはホームページから予約を受け付けている場合があるのでそれを利用するのだ。ホテルのホームページなら施設の情報も詳しく紹介されている場合が多い。でも、当然自社広告と同じだから、悪いことは書いていないので悪しからずだ。

1つ1つアクセスするのは面倒だが、サーチエンジンで“ホテル”と“予約”をキーワードにして検索するといろいろと出てくる。



インターネットで予約すると特典のあるホテルだってある

あまり便利じゃないなあ...なんて思っていると、少しだけお得な情報を見つけた。インターネットでホテルを予約をすると、それだけで特別なサービスをしてくる場合がある。宿泊料金を割引してくれたり、ウェルカムドリンクをサービスしてくれたりするのだ。ちょっとした特典だけど、インターネット予約な

急な出張が多いから、とりあえず泊まるホテルを探して予約できるのはうれしいぞ。



サラリーマン
評議員

らではのメリットなので得した気分になれるかもしれない。

評議員言いたい放題!

値段を割り引きしてくれるならこれはうれしいわよね~。



主婦
評議員

私は施設やお部屋や食事の内容がしっかりわからないとダメだもん!



OL
評議員

予約できるホテルの数が増えないとちょっと使わないな。



学生
評議員



あった! 約100件ものホテルを予約できるウェブサイトなのだ

なんとか便利なウェブサイトがないかとあきらめきれずに探してみたら、ウェブ上で予約もできて、割引サービスもあるウェブサイトが見つかった。JAPAN HOTEL SYSTEMというウェブなのだが、最大の難点はデータがまだちょっと少ないことだ。でも、ここを使えばホテルの予約もできるし格安情報だってある。使えば使うほど特をするキャッシュバックサービスだって完備しているのだ。今後、取り扱いホテルが増えていけば便利なものになること間違いなしだ。

予約できるホテルの数や情報量を見ると、この分野ではまだパンフレットやガイドブックで予約したほうが便利なものかもしれない。今後

結論!

たくさんのホテルの情報があって、それぞれの情報のが詳しく、それらのホテルを検索もできて気に入ったらオンラインで予約もできるなんていう旅行代理店のようなウェブサイトは、まだ国内には見当たらなかった。あったら便利だし、使う人も多だろうから、今後たくさん出現してくれるととてもうれしいのだが...



**適性テストや
カウンセリングが
受けられる**

就職情報誌といえば、リクルートのB-ingが有名だが、この雑誌のウェブサイト版を試してみよう。就職情報を検索するだけかと思ったら、“仕事情報”、“転職相談”、“ニュース”と3つのカテゴリーのサービスが用意されている。

どんな仕事に就こうか迷っているなら転職相談の“適性診断テスト”がオススメだ。88の質問項目に答えていくと自分がどんなタイプの人間かとか、どんなワークスタイルや組織形態・企業風土が合っているかなどを知ることができるのだ。あらかじめ自分を知るのには転職には非常に重要だ。手軽に診断できてその場で結果が分かるのはとってもウレシイ。



細かい条件検索ができるからせつかくの仕事を見落とす心配ナシ!

職種や業種、勤務地という条件から仕事を検索できるようになっている。さすがに収入は検索項目にはないが、これはウェブならではの便利な機能だ。分厚い情報誌をめくるだけではもしかしたら見逃してしまう仕事があるかもしれない。検索スピードは、ダイヤルアップ接続でもストレスのないレスポンスだ。いろいろな条件で探せるから、「これだ!」というのが見つかるかもしれない。仕事探しは人生の一大事なのでじっくり選びたい。

ただ残念なのは、誌面では各社の欄がイラストや楽しいキャッチコピーを使っているのに対して、ウェブのほうは単なるデータの羅列だということだ。そういった誌面の楽しい雰囲気ウェブでも再現してくれるといいんだけど。

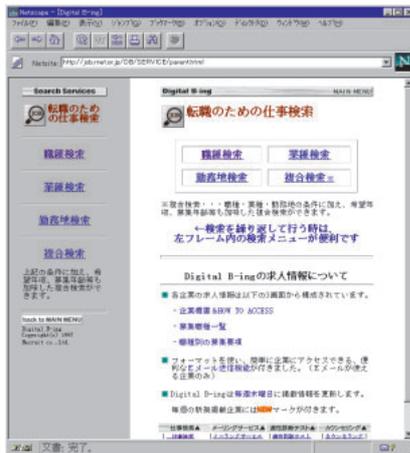


**人事へのアクセスも、
電話でなくて
メールで一発送信!**

「これだ!」という仕事が見つかったら、次は企業へのコンタクトだ。電話連絡はもちろん重要だが、このウェブサイトには電子メールでコンタクトをとるためのページが用意されている。書式に必要なデータを入力して送信ボタンを押せば、転職に必要な自己データや条件などを簡単に伝えることができる。自由記入欄もあるので、自分をアピールすることもOKだ。でも、あまりにも簡単に応募できてしまうのでちょっと不安になってしまうかもしれない。



合計88の質問に答えていけばOKだ。仕事探しは自分を知ることから始まるのだ。



条件を入力して仕事を探す。条件入力画面と、検索結果表示画面がフレームで分かれているので何回も検索するときに便利になっている。

このウェブのここがすごい!

こんなところに募集中の企業が次々に表示される。しかも、表示されている間にクリックすればその企業の情報にジャンプ!



自分にぴったりの仕事を見つけてくれるかもしれない強力な検索機能!

自分の適性検査をウェブで受けられたり、自分にあった仕事をアドバイスしてくれる相談サービスだってある。



分厚い就職情報誌をかかえて仕事を探すよりも、インターネットを使えば、らくらくお仕事探し&はう色の転職が期待できる。

転職情報誌



適性検査もできるし細かい検索もできる。これは言うことないんじゃないかな！



サラリーマン
評議員

内容が全部読めるんだから、雑誌買うよりもお得なんじゃないの。



主婦
評議員

電子メールで転職の情報を送ってくれるのは便利なんじゃない。あたしも転職しようかな。



OL
評議員

イラストやキャッチコピーがないだけ会社の情報がちょっとさびしいかなあ。



学生
評議員

評議員言いたい放題!



電子メールで
転職情報が届くのは
インターネットならではの

いろいろ探したけれど、やっぱり希望する仕

事は見つからなかったという人もいるかもしれない。でも、自分に合った仕事があるのならいつかは転職に挑戦してみたいという人は多とだろう。そんなときは普通だったら適職を紹介してくれる人材センターに登録するの

だが、ここには自分の条件に合った仕事の募集があったときに電子メールで知らせてくれるサービスがある。職種や業種、勤務地、希望年数などの条件を入力しておけば、その条件に合った企業が募集をしたときに知らせてくれるのだ。これならチャンスを見逃すことも少なくなるかも。会社宛てに送ってもらおうと、転職したいことがばれてしまうので要注意だ。

結論!

強力な検索機能はやっぱりうれしい。複数の条件で見たい仕事を検索できるのは紙ではできない機能だ。

また、データだけでなく、特集記事などの雑誌のコンテンツを惜しみなく掲載しているのには驚き。ただ、残念なのが、雑誌のようにイラストやキャッチコピーを使って企業を紹介していないところだ。データの羅列だけでは伝わらない部分が、誌面にはあるようだ。

担当者に 聞きました

株式会社リクルート
Digital B-ing 編集長 三牧義明さん

このウェブサイトでは、全国各地（東京・名古屋・関西・中国・九州）の転職情報誌 B-ing に掲載されている情報の一部を見ることができます。

このウェブサイトを見て実際に転職した人はたくさんいますが、特徴的なことは、応募する側からすると自分の希望条件での検索をしてから各企業の掲載情報にたどり着くというメディアであるため、企業側の採用ニーズに近い人が応募してくる確率が情報誌の場合よりも高いということが言えます。実際、大学の研究室で研究開発をしているような第一線の研究者や技術者が Digital B-ing を使って転職しており、今後はそれがいわゆる文系職種にも拡大すると思われる。

もっといい仕事に 転職したい

VS

Digital B-ing



Digital B-ing

URL <http://job.met.or.jp/DB/>



航空券を予約したい

飛行機の空席状況検索から座席の予約まで
オンラインですべてしてしまう「チケットレスサービス」は
ホントに使える？

旅行代理店

VS

航空チケット予約サービス



残席状況がひと目で分かるのが画期的

今回は日本エアシステム（JAS）のウェブサイトから国内線の航空券予約をしてみよう。ここJASのサイトでは、トップページが「チケットレスサービス」「予約」「本日の発着案内」「空席/スケジュール案内」「空港アクセス」「運賃」のカテゴリーに分かれている。まず、「空席/スケジュール案内」で残席状況を調べてみよう。

今回は、5月20日東京発札幌までの片道チケットを予約することにした。搭乗希望日の空席状況および運賃が検索できるほか、希望日から10日先までの空席状況も調べられる。実際にプルダウンメニューから必要事項を入

力して検索してみた。すると、該当するフライトと残席状況のほか、「早割り」や「スカイメイト」などの割引料金も表示された。電話予約の場合は、いちいち「月日のどこどこ行き 便は残席ありますか」というように、オペレーターにたずねなければならないが、ウェブサイトなら、自分の納得がいくまで探せるというわけだ。



チケットレスサービスは究極のオンライン予約

さて、ここから肝心の予約のページに進もう。あれっ？ JASのページには「チケットレスサービス」と「予約」という予約方法があるようだ。これはどう違うんだ？ と思いつつ、「予約」のアイコンをクリックすると、その説

JAS HOME PAGE
URL <http://www.jas.co.jp/>

明が出てきた。予約というのは、飛行機の座席だけの予約で、出発前にJASの営業所か旅行代理店に行き、代金を支払ってチケットを受け取らなければならない。一方、チケットレスサービスは、予約から決済までをオンラインで済ませてしまうので、当日は直接空港に行けるシステムだ。たしかに、これは便利そう。これこそ、オンラインならではのサービスではないだろうか。しかも、ここの予約はセキュアモードが使えるので、セキュリティ対策だって万全だ。



会社からアクセスすると予約できない場合がある？

通常このようなオンライン予約のページでは、



人気サイト 実力チェック 十番勝負

会員登録をするのが常である。このページでもユーザーIDとパスワードを入力しないと、予約できないシステムになっている。しかし、登録は無料だし、手順も複雑ではないので、簡単にできてしまった。

ただ、ファイヤーウォールの設定してある会社からのアクセスはできない。そのような場合は家のパソコンからアクセスするしかないのですが、念のために自宅のパソコンでアクセスしてみた。28.8Kのダイヤルアップで接続したのだが、時間帯が午後11時以降のテレホーダイタイムだと、混んでいて画面が表示されるまで2分近く待たされてしまった。



予約はウェブで、キャンセルは電話で

そのほかにも、このサイトにはFAQ集などがあり、「支払いはどうするのか」など、オンライン予約で気になる質問に対応している。予約のページにも同様の注意が書かれているので、見落とすことはない。必要最小限の情報と機能を取り入れたシンプルな作りが使いやすいさにつながっているのだろう。

ただ、座席のキャンセルに関しては電話のみの受け付けで、オンラインではできないそうだ。実際にウェブサイトでキャンセルできるようになったとしても、インターネットに接続したり、画面を表示させたりする時間を考えると、キャンセルするだけなら電話のほうが早そうだ。

結論!

航空券の予約でありがたいのは、なんとと言っても「チケットレスサービス」。予約から支払

担当者に 聞きました

株式会社日本エアシステム
営業本部 予約システム部 越川 修さん

JASのサイトは予約システムを管理しているコンピュータに直結しているの、残席状況を検索すると、そこから直に情報が送り返されてくるようになっているんです。

このサービスが始まった96年の4月ごろは本当に一部の利用者しかいなかったのですが、最近になって利用者が増えてくると「会員登録の仕方

が分からない」というような質問も増えました。ホテル予約とか、航空券以外の予約もできるといいという意見も寄せられるのですが、いろいろ事情があってなかなか難しいですね。今後は、予約だけでなく、飛行機や客室の写真を載せたり、スチュワーデスの制服を紹介したりするコーナーを作ろうかと考えています。

このウェブのここがすごい!

「空席 / スケジュール案内」を選択

日にちと行き先を選択すると、便名の一覧と運賃が表示される。ここから帰りの飛行機も調べられる。

評議員言いたい放題!

いちいちチケット取りに行く手間を考えると、画期的なサービスだね。次の出張のときに使ってみようかな。



サラリーマン評議員

こんなのがあるって全然知らなかったけど、けっこう使えそう。今度飛行機の予約をするときは、これにしようかな。



OL評議員

時間があるから、店で安いチケットを探そう。オンラインでは、ちゃんと予約できたが、不安だもの。



主婦評議員

お金ないから、格安チケット屋で買っちゃおう。



学生評議員

いまでオンラインでできてこそ、インターネットで予約をする意味があるのではないだろうか。しかし、オンラインでチケットを予約すれば、当然、正規の料金を支払わなければならない。

街の格安チケットショップなどを探し回れば、安いチケットが買えることを考えると、このサービスは時間のない人に向いているのかもしれない。



地図帳が電話回線からやってくる!

そもそも広辞苑によると、地図とは「地表の諸物体・現象を、一定の約束に従って縮尺し、記号・文字を用いて平面上に表現した図」とのこと。要するに単に場所が分かればよいというものではないのだ。東京タワーがやたら大きくて、東京湾が池のように小さいようなものは正確には地図とは言えないようだ。ところで、インターネットの世界にもちゃんと地図のディレクトリーサービスがある。今回はその中でも、マルチメディアグランプリ'96「ネットワーク部門 ビジネス賞」に輝いた「マピオン」を例にインターネットでの地図ディレクトリーサービスの実力をチェック!



買い替え不要! 日々進化するウェブの地図!

さっそく実際の地図とインターネットの地図検索サービスの実力を比較検証してみよう。一般に、目的地を調べる場合はその場所がどこにあるかを思い出して、地図のページをめくるのだが、「マピオン」の場合は地名を入力するだけで数秒もあれば探している場所が画面に現れるというスグレモノ。もし、探している目的地が複数ある場合には、再度絞り込みの画面で検索すれば自動的にリストアップされた再検索画面が現れるので、そこで目的のエリアを選択すればそれでおしまい。目的地がない場合は地図ができてないというお詫びのコメントが現れる。普通、日本地図に

載っていない場所はないのだが、ウェブではデータ作成が完全にできていないためにこういうことが起こるのだ。そしてもう1つ、私たちが利用している地図帳との大きな違いは、日々地図が進化すること。例えば新しい道路やビルやできて地図帳ではすぐに反映されないが、ウェブではリアルタイムに更新されていくので地図を買い替える必要はなし。目印が増えたり減ったりする地図こそインターネットにしかないサービスだ。



早く場所が知りたいけど... 地図が出てこない!

一概に地図といっても25万分の1などの道路地図から3000分の1ぐらいの住宅地図などもあり、用途により使い分けるのが普通。しかしウェブの地図ディレクトリーサービスは、ほとんどが全体図からズームインし、目的地を探す作りになっている。そのため、ページが変わる度にサーバーにアクセスするので、データをダウンロードするのにかなりの時間がかかってしまう。28.8Kbpsのダイヤルアップの場合では、ページを開くだけで3分以上かかってしまうこともあるのが難点。「素早く目的地を探したいのであれば地図帳のほうが便利」と言うのが評議員の意見でした。



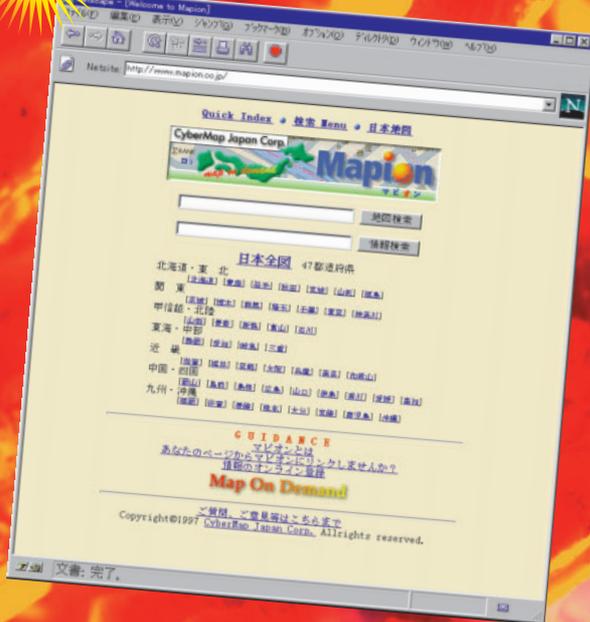
目的地を探そう!

地名を打ち込めば地図が出てくる時代になったぞ。インターネットの地図はビジネスマンの間で話題だが、果たしてその実力は?

地図帳

地図検索サービス

VS

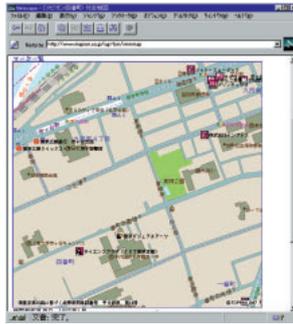


地図ディレクトリーサービス「マピオン」

URL <http://www.mapion.co.jp/>



おなじみの3万分の1の道路地図。



同じ場所のプリントアウトしたマビオンの地図。

担当者に聞きました

株式会社サイバーマップ・ジャパン
販売促進部 村田岳彦さん

「マビオン」の地図は国土地理院発行の地図をベースに作られています。1日約40万ヒットで、20～30歳代の会社員などに出張先、営業先の確認やその周辺のタウン情報を見るために利用されているようです。現在は各都道府県庁所在地と主要都市しかカバーしてませんが、それだけでも2万枚以上のページ。もし、全国を同じ縮尺でカバーするとなると数百万枚ものページを用意する必要がありますのでちょっと大変ですね(笑)。でも近いうちに10万分の1相当の縮尺で全国がカバーできるようになりますので是非アクセスしてください。このサービスは地図上の看板アイコンをクリックすると、その会社やお店のホームページが見られるのが特徴なんですが、この情報はブラウザ上から情報掲載者の方が毎日更新できるので、常に最新の情報をお届けできるインターネットならではの最新地図情報サービスです。今は地図上の情報が少ないように思うかもしれませんが、インターネットの普及、情報発信の一般化の進展とともに増えていくでしょう。今後ご期待ください。



新時代のマップはモバイルコンピューティング向け?

ところで、ウェブの地図ディレクトリーサービスはまだ全国津々浦々までカバーしたサイトがない。マビオンはその点唯一北海道から沖縄までをカバーしているが、検索できる場所は東京都23区や政令指定都市、県庁所在地などに限られている。実際、地名を入力して

も地図が出てこない場所のほうが多いのが現状。また、画像という比較的重たいデータをダウンロードするために、1枚の地図がモニター画面に現れるまでに電話代もかかる。クリックを間違えて違う場所を選んでしまうと修正するのちょっと手間かも知れない。しかし、将来、モバイルコンピューティングをしながらドライブ先の道路地図を見るなんてこともできるようになる来れば、ホームページとリンクした地図サービスは使えるツールになるはずだ。

地図を持って歩いてみました。



3万分の1の地図を持って会社の周りを歩いてみたが、ビル名や目印となるものが多く記入されているので非常に分かりやすい。



マビオンの地図も目標物が多く記入されているが、番地名の表示がないので住所だけで行き先を探す時は苦労しそう。

評議員言いたい放題!

大都市以外は目標物も少ないので、プリントアウトしたものをお得意さんに渡すのはちょっと...



サラリーマン
評議員

地名で検索できるのは非常に便利だけど、検索できる場所が少ないし、目標物が少ないのもちょっと心細いわね。



主婦評議員

地図が出てくるのに時間がかかりすぎる。地図帳見てファックス送れるわ。



OL評議員

緯度経度情報がURLになるのは画期的ですね。おまけに地図からホームページが見れるのもいいですね。



学生評議員

このウェブのここがすごい!

ランドマークが緯度経度情報に変換されてURLとして出るので、メールで相手にそのアドレスを伝えればウェブで同じ地図を見ることができる。これは超便利!

地図上のアイコンをクリックすると、その会社やお店のホームページが見れる。



マビオン便利帳を使えば、登録してある病院や、銀行、ホテルなども検索できる。駅前QuickMapには都内の路線図も載っている。

結論!

地図は必要なときにすばやく検索できるのがメリット。ドライブなどに持って行けない点で、ウェブサイトのサービスは実用面でいまいちかもしれないが、ネットワークに接続したコンピュータで仕事をしている人にとっては簡単に検索できて、リアルタイムの地図データを共有できるのは大きなメリット。全国をカバーするのも時間の問題。そうなればビジネスマンの強い味方だ! まずはアクセスしてみよう。

情報案内サービス 対決



ご存じ分厚いタウンページが
インターネットでスマートになった…のか？
どうかを調べてみよう！

NTTタウンページ

インターネットタウンページ

VS



インターネットタウンページ
URL <http://townpage.isp.ntt.co.jp/>



インターネットタウンページ
はイケてるか？

都内に配布されているNTTのタウンページの表紙の下に少々小さな文字で「インターネットアクセスページ」と書いてあるのにお気づきだろうか。気になるのでそのページを開いてみると、そこには「インターネットに広がるタウンページワールド！」というコピーがある。どうやらインターネットでもタウンページが利用できるらしい。現在この「インターネットタウンページ」は東京都23区内のみの情報提供サービスだが、数千ページにもおよぶ膨大な情報データベースをどのように処理し、利用者にサービスを提供しているのだろうか。さっそく実力を試してみた。



銀座のカレー屋さんを
探せ！

それでは、実際に両方のタウンページを使って情報検索対決を開始だ。テーマは銀座にあるカレー屋さん探し。

まずは、1冊約1500ページにもおよぶ分厚いタウンページで調べてみた。中央区をカバーするものから職業名・サービス名一覧でカレーというキーワードを探すとカレーハウスという項目が見つかる。現在75軒のお店が登録されているので銀座の住所の店を探すと6件を発見。その中の1軒は広告があり「銀座・グルメ通の店、女性に大人気」というコピーがあり、地図が載っていた。ここまで探すのに約3分。

続いてインターネットタウンページ。トップページの下の方にある「テーマで探す」をクリック、次のページのグルメというカテゴリーから洋食をクリック。すると、イタリア料理やフランス料理などにまじってカレー専門店の項目があるのでまたまたクリック。次のページで職業・サービス名、エリアを指定する検索画面が出てきたので「銀座」と入力し検索開始。34秒後に6件のカレー屋さんリストが登場！ここまでで約5分。ダイヤルアップ接続で検索結果を待たなければならないぶん「インターネット」は時間がかかるのだ。ところで、検索された結果は同じ6件だが、インターネット版には、6件すべての地図がのっていた。検索に時間と手間がかかるがこちらへのサービスはとても好感触。



タウンページは5冊で23区
インターネット版は
URLもフォローだ！

インターネットタウンページのメリットはもう1つ。都内のタウンページは5冊で23区をカバーしている。つまり、エリア別に作成されているためエリア外の情報を調べたいときにはそのエリアのタウンページを入手する必要がある。インターネットの場合は都内すべてをカバーしているので、エリアを考慮することなく検索ができるので超



インターネットタウンページの地図

評議員言いたい放題!

とっさのときにお店の電話番号や住所が調べられるのは便利。全国版だともっといいなあ。



サラリーマン
評議員

タウンページって頂くだけで結構使わないのよネ。毎年捨てるのが悪くて…。こっちのほうが邪魔にならなくていいわ。



主婦
評議員

モールウォーキングって買い物ができるかと思ったら、お店やスクールのホームページ紹介だけでがっかり。



OL
評議員

女の子特集のページは面白いです。街ネタも結構拾ってるんですね。これは本じゃできないですよネ。



学生
評議員

便利。また、URLを掲載している企業やお店などもあるため、ホームページでより詳しい情報が分かるのもうれしい。



愉快で情報満載なのは…
本？ウェブ？

インターネットタウンページにはさまざまな情報が満載されているが、仕掛けもユニーク。FUNモードではタウンページのオープニングアクトもあって、「たうんペーえーじ」と歌いながら電話帳くんが登場する。また、電話番号ばかりを見てても飽きるけど、ショックウェブやスプラッシュといったプラグインソフトを使った情報案内ページは見ても飽きないかも。

結論!

膨大な広告のデータベースに、映像や地図がドッキング！文字情報の集積であるタウンページが2倍にも3倍にも使いやすくなっているぞ。将来、URL版での検索もできるようになれば身近な情報サービスとしては素晴らしいものになるはずだ！

まだまだあるぞ！ お役立ちウェブサイト

今回、紹介しきれなかったが、生活に役立つ便利サイトはまだまだ山のようにある。評議員に選んでもらったその氷山の一角をご紹介します！読者の皆さんも是非一度アクセスして、ウェブの実力を自分なりに検証してほしい。



アパート探し

リクルートのふおれんと
URL <http://www.recruit.co.jp/FR/>

沿線別、値段別で選べるのがとても便利。情報量が多いしインターフェイスがわかりやすい。



産地直送

パーチャル八百屋
URL <http://www.yaoya.com/>

新鮮な産地直送品が買える。メールで野菜の情報が送られてくる。



ホテル予約

ホテルの窓口
URL <http://hotel.aska.or.jp/>

地域別、値段別で検索できて予約もできるのは便利。もっと件数が増えてくれれば実用的。



本屋

丸善
URL <http://www.maruzen.co.jp/>

洋書を買うならココ！ときどき買いたい物に行くお店だから安心。オンラインショッピングもできる。



職探し

Career Space
URL <http://www.mycom.co.jp/career/>

メールで就職・転職情報を送ってくれるのが便利。



格安チケット情報

H.I.S.
URL <http://www.his-j.com/>

チケットは買えないけど、値段を見るだけでも旅に行けそうな感じでうれしい。



ハローダイヤル

ハローダイヤル
URL <http://hello.nttts.co.jp/>

情報はまだまだ少ないが全国をカバーしている。タウンページと併せて使えば便利。



海外旅行情報

地球の歩き方
URL <http://plaza.globe.or.jp/gjio/>

ご存知「地球の歩き方」のホームページ。旅行から留学までのためになる最新情報がてんこ盛り。



デートプランをたてよう！

東京デート
URL http://teleparc.com/tokyo_date/

「ぴあ」が情報提供してるから、映画やグルメ情報は新しいものが多い。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp